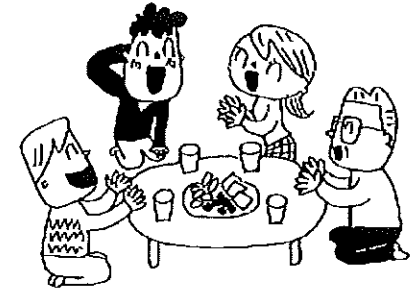


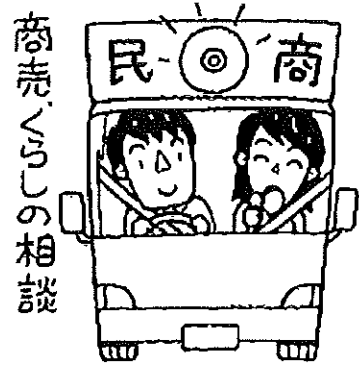
11月1日から開始の自治体要請キャラバンで「磯田達伸長岡市長」に私たち中小業者の要求を

商工新聞読者が1人・会員が2人入会。仲間が増えました。

現在、仕事のため県外にアパートを借りて現場に通う建築業の男性。今までの取引先との仕事で激減したため、やむなく県外で仕事をしています。自宅に戻るのには月に一度か二度。経費もかさむし、「何より家族に会えないのが寂しい。でも、生活のためには我慢するしかありません。」と言います。「知り合いから民商を教えてもらいました。確定申告のことと税金のこと、いろいろ相談したいことがあります。」と入会。共済にも同時加入していただきました。

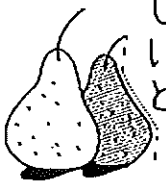


突然主人を亡くされた食品小売業の女性。「店を閉めようかとも思いましたが、二人でつくってきたお店です。頑張って続けようと思います。」と入会していただきました。



商売くらしの相談

11月1日から全県で始まる「自治体要請キャラバン」で、長岡民商も県連と一緒に長岡市に要請を予定しています。一生懸命に頑張っている私たち中小企業が、長岡市に住み、長岡市で仕事をしてきてよかったですと言える市にしてほしいと、強く伝えるつもりです。



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2016年
10月31日
第1834号

新発田民商事務局と 長岡民商事務局が活動交流



10月22日、今回で2回目の新発田民商事務局との活動交流会を行いました。当日は新発田民商事務局員4人から、長岡民商の事務所まで来ていただき、私たち長岡の事務局と、日頃の事務局活動について意見交換をしました。

支部中心に活動するために何が必要でどのようなことに努力しているのか。民商の魅力や値打ちを、どのように会員に伝えられるのか。役員と事務局とのよりよい関係をどうつくっていくのかなど、日頃事務局として活動する上で悩んでいることや、努力していることなどを、率直な言葉で話し合いました。新発田民商は「組織建設3カ年計画」を総会で採択し実践してきています。特に支部役員会の実施に努力をし、7月から10月までに、8支部で役員会が開かれています。その役員会の中で「何でも相談会」の実施、「記帳学習会」や「新入会員歓迎会」などの計画も話し合われています。そしてその活動の様子をわかりやすくまとめ、役員や会員に伝える努力を行っています。支部の今の現状を理解し、よりよい支部活動にするための努力をしていることに、同じ事務局として、大きな刺激になりました。今度また交流の機会があるならば、その時は新発田民商事務局の方々に、「参考になった」と言っていただけのように、長岡の活動に努力したいと思っています。新発田民商事務局のみなさんありがとございました。

